

高校国語教育

2016年12月
臨時増刊号

高校国語教育はどう変わるか

「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」(平成二八年八月二六日教育課程部会資料)によれば、次期学習指導要領では、学習する生徒の視点に立ち、教育課程全体や各教科等の学びを通じて、「何ができるようになるのか」という観点から「育成すべき資質・能力」が示されることになります。その上で、その資質・能力を育成するために「何を学ぶのか」という指導内容等と、「どのように学ぶのか」という生徒の具体的な学びの姿に立って、学習指導要領が構成されることになります。

高校の国語に関しては、教材への依存度が高く、主体的な言語活動が軽視され、依然として講義調の伝達型授業に偏っている傾向があると指摘されています。学習・指導の改善充実に関しては、「深い学び」「対話的な学び」「主体的な学び」の実現に向けて、授業改善を進めることが重要になります。

これまで、授業の展開については、教材読み取りが中心になりがち、主体的な表現や話し合い、論述の活動が不十分、といった課題がありました。こうした課題の解決のため、科目構成の見直しを含む次のような検討が進められています(下段参照)。

必修科目としては、実社会・実生活に生きて働く国語の能力を育成する「現代の国語(仮称)」、上代から近現代につながるわが国の言語文化への理解を深める「言語文化(仮称)」が設定されます。

選択科目としては、必修科目において育成された能力を基盤として、「思考力・判断力・表現力等」の言葉の働きを捉える三つの側面のそれぞれを主として育成する科目として、「論理国語(仮称)」「文学国語(仮称)」「国語表現(仮称)」が設定されます。また、「言語文化(仮称)」で育成された資質・能力のうち「伝統的な言語文化に関する理解」をより深めるため、ジャンルとしての古典を学習対象とする「古典探究(仮称)」が設定されます。

さらに、各科目において、高校生が読書の意義や価値について実感をもつて認識することを目指した指導の充実が必要であることが示されています。

【現代の国語(仮称)】

実社会・実生活に生きて働く国語の能力を育成する科目

【言語文化(仮称)】

上代(万葉集の歌が詠まれた時代)から近現代につながる我が国の言語文化への理解を深める科目

【論理国語(仮称)】

多様な文章等を多角的・多面的に理解し、創造的に思考して自分の考えを形成し、論理的に表現する能力を育成する科目

【文学国語(仮称)】

小説、随筆、詩歌、脚本等に描かれた人物の心情や情景、表現の仕方等を読み味わい評価するとともに、それらの創作に関わる能力を育成する科目

【国語表現(仮称)】

表現の特徴や効果を理解した上で、自分の思いや考えをまとめ、適切かつ効果的に表現して他者と伝え合う能力を育成する科目

【古典探究(仮称)】

古典を主体的に読み深めることを通して、自分と自分を取り巻く社会にとっての古典の意義や価値について探究する科目

必修科目(案)

選択科目(案)

いわゆる「アクティブ・ラーニング」とは、言葉の力を育成するための視点です。その学びが「主体的か」「対話的か」「深いか」という三つの視点をもっています。

授業の「型」のことだという受け止めがありますが、

大切なのは活動そのものではなく、活動が学びにどのようなつながるか、という視点です。

授業者が明確に意識すべきなのは「目的」です。授業者こそが「主体的」に目的を立てることによって、その教室に生きる活動となることでしよう。

次に示したのは、教科書教材をもとに、このような視点を織り込んで構想した言語活動の例です。



シナリオを作ろう

児のそら寝

目的

シナリオを作ることによって、じつは複雑な語りの構造になっているテキストの特質を感じ取る。

方法

1 四人で一つのグループを作りましょう。

2 次の四つの役割から一つ選びましょう。四人でそれぞれ別の役割を担当しましょう。（くじで決めてもよいし、話し合いで決めてもよい。）

・ナレーター ・僧1 ・僧2 ・児

3 お話をシナリオに作り替えましょう。現代語でかまいません。

次の三つを本文に沿って書いていきましょう。

- ① ナレーターが読むところ
- ② 僧1と僧2のせりふ
- ③ 児の心の中のせりふと口に出したせりふ

教科書の本文や現代語訳、語注を参考にしながら、自分たちでさらによい表現を工夫しましょう。いろんな表現を出し合って、いいなと思ったものを書いていきましょう。児の心の中のせりふは（ ）でくくりましょう。

【児のそら寝】シナリオワークシート

(二)組 (三)班 (〇〇〇〇)

◎役割 ナレーター 「△△」

僧1 「□□」

僧2 「▽▽」

児 「☆☆」

ナレーター

昔々、比叡山の延暦寺にひとりの子どもがいました。行儀見習いのためにお寺に預けられていたのです。ある夕刻のことです。

僧1

おなかすいたな。ばた餅でも作らないか。

僧2

それはいいな。

児

(食べたいな！でも、寝ないで待ってたら、卑しん坊って思われちゃう……)

ナレーター

児は部屋の隅に行って、寝たふりをすることにしました。……

4 できあがったシナリオを音読しましょう。僧1と僧2は、それぞれのせりふを担当するか、決めておきましょう。

それぞれのせりふを担当するか、決めておきましょう。

5 音読してみて、直したほうがよいところに気づいたら直しましょう。

6 何度も練習して、「児のそら寝」の音読劇を発表しましょう。

ヒント

例えば、「起こすな」と言った僧は、寝たふりに気づいていたのか、いなかったのか、解釈の分かれるところです。他の箇所についても、自分たちの解釈をせりふの表現の仕方によって表してみましよう。

7 クラスで発表会をしたあと、「シナリオにして気づいたこと」

「他のグループの発表を聞いて気づいたこと」を書きましよう。

【児のそら寝】「自分の気づき」ワークシート

()組 ()班 ()

◎シナリオにして気づいたこと

補足

「児のそら寝」はほとんどが内面描写である。音声としてのせりふは、僧のせりふ三つと最後の「えい」のみ。シナリオにすることによって、そのことが明瞭にわかる。同じ説話でも、次の教材「検非違使忠明」には内面描写はほとんどない。「児のそら寝」の語り手は、児の内面を想像し、〈創作〉している。児の僧たちに対する想像まで「想像」している。そんなことにも気づけたらおもしろい。



グループワークをしよう

平家物語

目的

グループワークをとおして内容の理解を深め、古典の世界への知的好奇心を広げる。

方法

1 予習課題として、本文の文法事項や意味をワークシートに記入して確認しましょう。

【平家物語】 予習ワークシート

(二)組 (三)班 (〇〇〇〇)

釈迦が説法した。万物は流転するものであり、永久に変わらない、ラ変ありというインドの寺。ものはない、どう仏教思想

祇園精舎の鐘の音、ものはない、どう仏教思想諸行無常の響きあり。終止

祇園精舎の鐘の音には、この世の全てははかないものであるという響きがある。道理。サ四「あらはす」終止

沙羅双樹の花の色、インド原産の常緑高木。盛者必衰の理をあらはす。終止

沙羅双樹の花の色は、勢い盛んな者は必ず衰退するという道理を表している。

2 予習課題のワークシートの内容をグループで比べ合い、コメントをもらいましょう。違いがあれば、どちらがよいかを考え、説明し合ひましょう。

(辞書や文法書を用いてもよい。)

【平家物語】 協働ワークシート

(二)組 (三)班 (〇〇〇〇)

| メンバー | コメント |
|------|--|
| 〇〇 | ③助詞「つ」下に推量助詞だから強意。 |
| △△ | ⑤助詞「らん」「そ」が連体形に接続なので④。たぐさんのことを学べました。ありがたう。 |
| □□ | ④「切つて」と「まはる」で文節切る。音便が書いてあってわかりやすい。 |

3

グループワークを通じて学んだことや気づいたことをまとめ、まだわからないところ、疑問に思った点、さらに調べたいと思ったことを書きましょう。

補足

その後の授業では、講義も行う。予習課題とグループワークで疑問が出ているため、講義型で進んでも主体的に授業に取り組むことができる。

また、発展学習として、「方法3」で出された「さらに調べたいこと」について自由に調べ、レポートを書くこともできる。内容を深く理解した上での疑問や調査が、生徒の知的好奇心を育てる。

お詫びと訂正のお願い

『高等学校古典B 古文編』『指導資料』(第③分冊)の文献に関して誤りがありました。ご指導の際には、ご留意いただけますようお願いいたします。

●77ページ下段最終行

誤 『枕草子研究』藤本宗利(二〇〇二年・風間書房)

正 『枕草子 逸脱のまなざし』小森潔(一九九八年・笠間書院)

ご使用いただいております先生方とともに、小森潔先生、藤本宗利先生に多大なご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫びいたします。

三省堂高校国語教育
2016年12月臨時増刊号

2016年12月15日発行

○編集・発行人／北口克彦

○発行所／株式会社 三省堂

〒101-8371 東京都千代田区三崎町2-22-14

TEL 03(3230)9411 [編集]・9412 [営業]

URL <http://www.sanseido.co.jp/>